

11.28

原子力規制委員会は、11月7日、日本原子力発電(日本原電) 東海第二原発(茨城県東海村/1978年11月28日運転開始)の運転期間を最長20年延長できることを認めました。原発の運転期間を40年とする原則を形骸化させるもので、老朽化した東海第二原発は、事故のリスクや労働者の被曝を高めるなど様々な問題を抱えています。また東海第二原発は、周辺30キロ圏内に約96万人が暮らし、都心からもおよそ110キロの距離にあり、一度過酷事故が起きればその被害は計り知れないものとなります。

今後は周辺自治体の合意が焦点となっています。すでに那珂市長は反対の姿勢を示し、水戸市議会も再稼働反対の意見書を出しています。しかし、日本原電の和智信隆副社長は、東海第二原発が再稼働する際に周辺の6つの自治体と結んだ「実質的な事前了解を得る」とする協定について「拒否権という言葉はない」など協定軽視、住民軽視の発言をし、いまでも発言の撤回をしていません。

さようなら原発1000万人アクションは、41年目に入る11月28日に、運転延長を認める政府や国会に対して抗議の声をあげます。

日時 **11月28日(水) 12:00~13:00**

場所 **衆議院第二議員会館前**

*交通 地下鉄丸の内線・千代田線「国会議事堂前」徒歩3分
地下鉄半蔵門線・有楽町線・南北線「永田町」徒歩2分

主催 **さようなら原発1000万人
アクション実行委員会**

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F 原水禁気付
電話 03-5289-8224

緊急行動

東海第二原発の 運転延長に抗議する